

「地域ケア会議」とは 【資料3-2】

①高齢者個人に対する支援の充実と、②それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法。

2つの検討

①個別課題の検討

○高齢者個人の課題への対応を本人や家族、介護支援専門員、保健・医療の専門職、福祉の専門職、民生委員、自治会長、行政職員等の参加によって、多様な視点から検討することで、地域におけるその人らしい生活の継続を支援する。

高齢者個人を支援する
「地域ケア個別会議」

①個別課題の検討が、②地域課題の検討を通じて社会基盤の整備につながり、さらに個人に対する支援の充実につながります。

①個別課題の検討
と
②地域課題の検討
の良循環

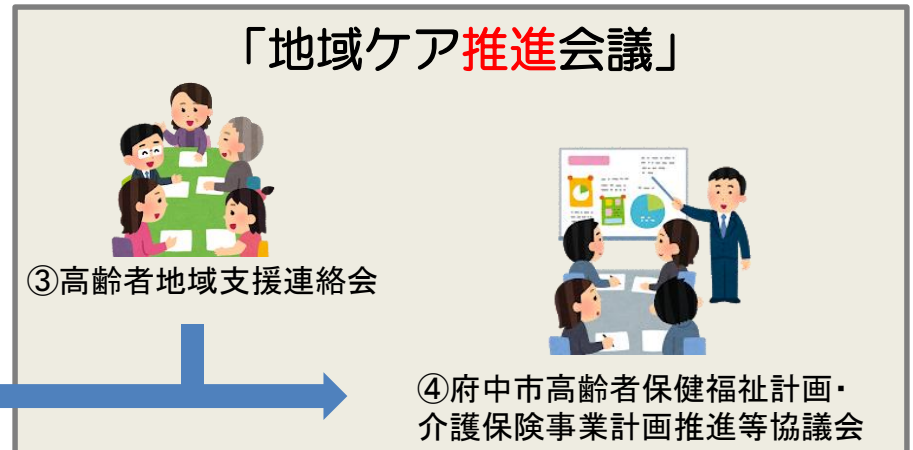
②地域課題の検討

○①個別課題の検討では解決できない地域の高齢者に普遍的に該当すると考えられる課題を把握する。
○このような地域課題への対応を地域住民、専門職、行政職員、地域包括支援センター職員等が検討することで、地域課題の解決につなげる。

社会基盤を整備する
「地域ケア推進会議」

府中市の地域ケア会議

会議	対象範囲	機能	役割
①担当地区ケア会議	個別ケース	①ケアマネジメントの質の向上 ②地域資源不足の顕在化 ③困りごとの類型化 ④多職種連携強化	地区の個別の困難事例を分析し、その傾向や課題をまとめ、相談支援やサービス提供体制の改善につなげ、地域力の強化につなげます。
②自立支援ケア会議			本人が抱える課題の検討を通じて、課題に対する有効な支援方法を積み重ね、地域全体のケアマネジメントの質の向上につなげるとともに、検討後に残った課題を蓄積することで、地域に共通する課題の発見につなげます。
③高齢者地域支援連絡会	地域包括支援センター圏域	①地域ごとの課題の抽出 ②課題に対する解決策検討	高齢者が地域で安心して生活ができるように、行政や地域の活動に関する情報を共有します。また、提案があった地域課題や発見した地域課題を共有し、その整理や解決に向けた検討を行います。
④府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会	市全域	①市内の共通課題の施策検討	担当地区ケア会議、自立支援ケア会議、高齢者地域支援連絡会の開催状況や把握した地域課題について統括的に報告します。また、現行計画の進捗管理や次期計画の策定過程の中で、地域課題への対応方法について検討・協議します。



府中市の地域ケア会議の開催状況（令和3年度）

会議	主催者	出席者	回数	備考
①担当地区ケア会議	地域包括支援センター 市	本人、親族、居宅介護支援事業所、介護保険サービス事業所、市、社会福祉協議会、地域住民 等 ※必要に応じて出席	127	
②自立支援ケア会議	地域包括支援センター 市	地域包括支援センター、いきいきプラザ、社会福祉協議会、介護関係団体、サービス事業者 等 ※必要に応じて出席	41	
③高齢者地域支援連絡会	地域包括支援センター	民生委員、自治会長、シニアクラブ会長、医療・介護関係団体、見守りネットワーク関係団体 等 ※地域の実情に応じて出席	11	
④府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会	市	学識経験者、介護保険被保険者・サービス事業者、社会福祉・医療関係団体、関係行政機関、公募市民、地域包括支援センター長 等 ※議題に応じて出席	2	

府中市の地域の課題（令和3年度）

【府中市地域包括支援センターから挙げられた主な課題】

課題	方向性
新型コロナで孤立することによるフレイル・認知症の進行	ネットワークの強化、ICTの利活用
風水害時の避難行動要支援者に対する支援体制	自治体との協力体制の推進
地域包括支援センターのPR	市内全戸に周知
高齢者のデジタルツールの利活用	デジタルツールの使い方教室の開催
低所得・双方向介護など多問題ケースの増加	医療・介護・市など複数職種との連携強化
予防プランの増加	介護認定の申請時の窓口受付方法の変更